

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学 薬学部 教授 嶋田 一夫	2155009
国際会議名称	第 27 回生体系磁気共鳴国際会議	
開催期間	2016 年 8 月 21 日～8 月 26 日	
開催場所	京都国際会館 (京都市左京区)	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

上記の国際会議 (ICMRBS) は生体系の磁気共鳴を専門として 2 年に一度開催される。この第 27 回会議は甲斐荘正恒教授 (首都大学東京), 阿久津秀雄教授 (大阪大学), 嶋田一夫教授 (東京大学) を組織委員として開催された。

(目的・意義) 本国際会議は, 第一線の研究者による最先端の研究成果の発表と討論を通じて, 磁気共鳴の新たな原理および応用の発展を図るだけでなく, 様々な専門分野の研究者間の密接な交流の場を提供することも重要な目的としている。本会議の日本における開催は, わが国の磁気共鳴分野の若手研究者を育て, 研究を飛躍的に発展させるだけでなく, 本分野におけるわが国の研究者の国際的な存在感を, 幅広い文化交流を通じて, より確固たるものにするための良い機会となることも期待されている。

(成果・効果) 大会スタッフや出展企業を含めて総参加者 982 名を迎えることができた。また, 30 の国々から参加があり, 海外からの参加者は全体の約 7 割を占める国際色豊かな学会となり, 多くの参加者や ICMRBS 評議員から最も成功した大会の一つであったとの評価を受けた。プログラムは, Wüthrich 博士 (チューリッヒ工科大学, 2002 年ノーベル化学賞受賞) の格調高い基調講演で始まり, ポスター 470 演題 (うち 35 件は口頭発表もあり) も含めて, 総演題数 601 の発表がなされた。また今大会では, Welcome Reception, Banquet, 企業 night, 企業ブースなどを通じて, 日本の文化が多く発信された。特に JEOL night でサプライズとして披露された書道, 日本舞踊などは, 海外からの参加者を熱狂させた。